

川だより～芦田川～

ニュースレター
第7号
(H19.5.31)

本号では、「ニュースレター第6号」に引き続き、芦田川の今後を考える「学識懇談会」ならびに「住民説明会」の開催結果報告としまして、各会議にて学識経験者の方々や住民のみなさんからいただいたご意見をご紹介します。

今後もこれらのご意見を踏まえ、「芦田川水系河川整備計画」の策定に取り組んでいきます。

これまでいただいた意見数

	手 段	実施期間	実施内容	意見数
1	学識懇談会	H16.1.28、H16.4.27、 H18.12.19	福山会場で3回実施	44
2	住民説明会	H17.2.23～24、 H19.1.20～21	福山会場、府中会場で 各2回実施	129
3	アンケート	H17.2.23～24、H17.4、 H18.12.19、 H19.1.20～21	学識懇談会・住民説明会・ 小学校で配布	327
4	その他（来所,電話,封書）	—	—	11
合 計				511

「芦田川水系河川整備計画」の策定に向けた主なご意見紹介（その1）

これまでいただいたご意見の中から、計画テーマ毎に多いご意見を紹介します。

計画テーマ毎の主なご意見

治 水

【整備目標】

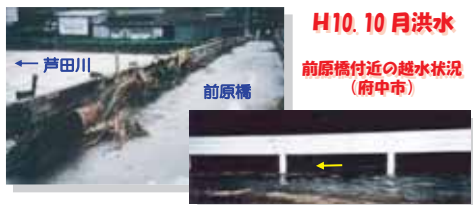
—流域の人々が心安らかに

暮らせる芦田川に—

戦後に発生した洪水が安全に流下できる
川づくりを目指します。

【ご意見】

- ★他地域と比べて遜色のない程度の安全な芦田川にして欲しい。
- ★地球温暖化等の影響でさらに大きな洪水が起こる可能性があると考えられるので、こうした洪水を予測して、目標を立てるべきではないか。
- ★浸水被害が深刻なため、目崎町の狭あい区間の抜本的治水対策をして欲しい。



利 水

【整備目標】

—ふるさとの豊かな暮らしを

支える芦田川に—

八田原ダム・河口堰による水の補給と
関係機関との協力により生活・産業等
に必要な水を安定的に確保します。

【ご意見】

- ★渇水時でも、安心して生活ができるように、渇水対策を実施して欲しい。
- ★下水処理水を工業用水等に再利用するなど新たな水源の確保を検討して欲しい。
- ★八田原ダムをもっと有効に活用し、安定的に生活・産業等に水供給できるよう努めるべきではないか。



「芦田川水系河川整備計画」の策定に向けた主なご意見紹介（その2）

水環境

【整備目標】

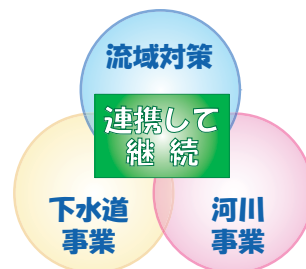
一人が集い、水にふれ、親しめる芦田川に

流域からの汚濁負荷を削減するとともに自然浄化機能を回復することにより清浄な水質を確保します。

【ご意見】

- ★水質を良くするためには、住民の理解と協力が不可欠である。家庭からの雑排水が河川の水質を悪化させているのだという認識を持ってもらうために、地域住民へPRが必要である。
- ★水質を良くするためには、下水道整備率を上げることが重要である。関係機関（地方公共団体等）と調整・連携し、下水道整備を早急に行って欲しい。
- ★下流部の環境改善のため、河口堰を常時開放して欲しい。それができないのであれば、弾力的な開放等を考えて欲しい。

対策イメージ



河川環境

【整備目標】

ふるさとの豊かな自然と歴史をはぐくむ芦田川に

利用しやすい河川空間を整備するとともに、河川らしい自然環境を創出します。

【ご意見】

- ★自然と触れ合え、水辺で遊べるような親しみのある川になればいいと思う。
- ★ハード的にもソフト的にも利用しやすい河川空間の創造を目指して欲しい。
- ★公園、ランニング・ウォーキングコース、サイクリングロード、遊歩道、駐車場等、住民の憩いの場となる高水敷を整備して欲しい。

整備イメージ



維持管理

【整備目標】

常に芦田川の有する機能が十分発揮できるよう適正な維持管理を実施します。

【ご意見】

- ★中州に生えている樹木を伐採したり、堆積土砂を撤去して、川の流れをスムーズにして欲しい。
- ★住民と連携し、ゴミ拾いや草刈などの清掃活動を実施してはどうか。



対策イメージ

その他

【ご意見】

- ★森林の保水力を高める必要がある。
- ★地方行政、住民、国土交通省、関係機関が一致協力して、目標に向かって実践して欲しい。
- ★一般市民に対する情報提供がまだまだ不十分だと思う。

情報提供のイメージ



発行者 ・ 問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局
福山河川国道事務所
調査設計第一課

〒720-0031 福山市三吉町 4-4-13
TEL 084-923-2620 / FAX 084-923-2557
E-mail fukuyama@cgr.mlit.go.jp